

I. 箱は神の具体化としてのキリストを予表します(コロサイ2:9)。それはまた、キリストが三一の神と彼の民との同在であることを予表します。それは彼のエコノミーを完成して、地上で彼の王国を確立するためです：コロサイ2:9 なぜなら、キリストの中には、神たる方の全豊満が肉体のかたちをもって住んでいるからです。

A. 幕屋の器具の最初の項目は証しの箱です。これが示しているのは、もし私たちが神の具体化としてのキリストを持っていないなら、キリストの拡大、すなわち召会、彼のからだを持つことができないということです。

出25:22 私はそこであなたと会い、罪を覆う蓋の上から、すなわち証しの箱の上にある二つのケルビムの間から、イスラエルの子たちに対してあなたに命じるすべてのことについて、あなたと語る。

出38:21 幕屋、すなわち、証しの幕屋に用いた物の総計は次のとおりである。これはモーセの命令にしたがって、レビ人の奉仕のために、祭司アロンの子イタマルの手によって数えられたものである。

B. 箱は律法の板を含んでいました。律法は神の証し、神がだれであるかの表現また啓示です。

出25:16 その箱の中に、私があなたに与える証しの板を入れなければならない。

C. 至聖所の中の箱は、神の住まい(召会)のその中心を表徴します。

エペソ2:21 その方の中で、建物全体が共に組み合わされ、主の中にある聖なる宮へと成長していき、  
22 その方の中で、あなたがたもまた共に建造されて、霊の中にある神の住まいへと至るのです。

D. 箱は神の家(召会)のその内容を表徴します。

II. 金で覆われたアカシア材の箱が表徴するのは、神の具体化また神性と人性のミングリング(神と人の建造)としての霊なるキリストが、私たちの霊の中に住んで、私たちが神と接触し神を享受するということです：

Ⅱテモテ4:22 主があなたの霊と共におられますように。恵みがあなたと共にありますように。

Ⅱコリント3:17 そして主はその霊です。そして主の霊のあるところには、自由があります。

ヘブル9:4 そこには金の香壇と、全面、金で覆われた契約の箱が有って、その中には、マナが入っている金のつぼと、芽を出したアロンの杖と、契約の板とがありました。

A. アカシア材が表徴するのは、キリストの人性が、性格が堅固で、標準が高いということです。キリストの人性は、神を表現するための基本的な実質です。

出25:10 また、彼らはアカシア材の箱を作らなければならない。その長さは二キュビト半、幅は一キュビト半、高さは一キュビト半である。

出エジプト記第25章10節は言います、「彼らはアカシア材の箱を作らなければならない」。22節によれば、この箱は「証しの箱」と呼ばれました。出エジプト記で証しは律法を指しています。神はモーセを通してシナイ山で公布された律法を彼の証しと考えました。

マタイ4:4 しかし、イエスは答えて言われた、「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉によって生きる』と書かれている」。11:29 私は心の柔和なへりくだった者であるから、私のくびきを負い、私から学びなさい。そうすれば、あなたがたは魂に安息を見いだす。12:19 彼は争わず叫ばず、大通りで彼の声を聞く者もない。20:28 それは、人の子が来たのも、仕えられるためではなく、仕えるためであって、多くの人の贖いの代価として自分の命を与えるためであるのと同じである」。

マルコ1:35 さて、朝早くまだ暗いうちに、イエスは起きて荒野へ行き、そこで祈られた。

B. 純金が表徴するのは、キリストの永遠の変わることのない神性です。

出25:11 あなたはそれを純金で覆わなければならない。すなわち内側と外側を覆い、その周りには金の飾り縁を作らなければならない。

C. アカシア材が内側も外側も金で覆われていることが表徴するのは、神聖な性質が人の性質に浸透し、人の性質の上にとどまり、人の性質を通して表現されるということです。

啓3:18 私はあなたに勧める。あなたが富むために、火で精錬された金を私から買いなさい。またあなたがまとめて裸の恥を現さないために、白い衣を買いなさい。また見えるようになるために、目に塗る目薬を買いなさい。Ⅱペテロ1:4 彼はその栄光と美德を通して、尊く、際立って偉大な約束を、私たちにすでに与えてくださっています。それは、これらの約束を通して、あなたがたが情欲によるこの世の腐敗から逃れて、神聖な性質にあずかる者となるためです。

アカシア材は、内側と外側の両方が金で覆われていました。これは、神聖な性質が人の性質とミングリングされたこと、すなわち神と人が一になることを表徴します。これはまた、神聖な性質が人の性質に浸透し、また人の性質の上にとどまり、人の性質を通して表現されることを表徴します。もし箱の外側が金で覆われていただけなら、これはミングリングではなく結合を表徴したでしょう。ミングリングが表徴されるのは、アカシア材が内側も外側も金で覆われたという事実によってです。アカシア材は二層の金の間にありました。これがミングリングです。

D. 箱の大きさが表徴するのは、それが証しであるということです。

E. 箱の周りの金の飾り縁が表徴するのは、神聖な性質の栄光が神聖な守る力また保持する強さであるということです。Iペテロ4:14 キリストの御名の中でそしられるなら、あなたがたは幸いです。なぜなら、栄光の霊、すなわち神の霊が、あなたがたの上にとどまってくくださるからです。

Ⅲ. 四つの金の環(かん)と箱の両側の二本の竿(さお)は、神の証しとしてのキリストの地上での行動を表徴します：使徒8:1 さて、サウロはステパノを殺すことに賛成していた。その日、エルサレムに在る召会に対して大迫害が起こった。そして、使徒たちのほかはみな、ユダヤとサマリアの地方に散らされた。

**出25:12** また、箱のために四つの金の環(かん)を鑄て作り、その四つの足の部分に取り付けなければならない。すなわち、二つの環が一方の側にあり、二つの環がもう一方の側にあるようにしなければならない。

A. 四つの金の環を鑄て作ることが表徴するのは、十字架の経験を通して、キリストの神聖な性質を伴う永遠の命を与える霊が、結び付ける要因と力になるということです:

1. 四の数は、すべての人に届くための地の四隅を表徴します。

**啓7:1** この後私は、四人の御使いが地の四隅に立って、地の四方の風をしっかりと抑え、地にも海にもどんな木にも、風が吹きつけないようにしているのを見た。

2. 箱のそれぞれの側の二つの環は、証しと組み合わせを表徴します。

**ルカ10:1** これらの事の後、主はほかに七十人を立てて、ご自分が行こうとしているあらゆる町や場所へ、彼の御顔の先に、二人ずつ遣わされた。

主イエスは地上にいたとき、彼の弟子たちを二人ずつ遣わして、…地上での彼の行動のために彼の証しを担わせました。原則は、箱とその行動についても同じです。二つの環、二つの側、二本の竿、そしておそらく二人の人が前と後ろにいました。これは証しと組み合わせを表徴します。…箱を運ぶための二本の竿は、神の証しとしてのキリストの行動を表徴します。

B. 箱を運ぶための二本の竿は、神の証しとしてのキリストの行動を表徴します:

**出25:13** また、アカシア材の竿(さお)を作り、それを金で覆わなければならない。**14** その竿を箱の両側にある環に通し、それをもって箱を担がなければならない。**15** 竿は箱の環に差し、それを外してはならない。

第25章15節によれば、竿は箱の環の中にとどめ、外してはなりません。これは、神の証しとしてのキリストの行動に対して、私たちが備えていることを表徴します。私たちは常に、神の証しが行動することに備えられていなければなりません。私たちは環と竿を持っているべきであり、竿は環の中にあるべきです。ある期間、私たちはいる場所にとどまるでしょう。ある時点で、主は他の都市、おそらくは他の国にさえ私たちを移動させるかもしれません。私たちは常に備えられて主の証しと共に行き、行動するべきです。

1. 竿がアカシア材で作られ金で覆われていることが表徴するのは、キリストの人の性質が、キリストが神の証しとしての彼の行動のための力であり、彼の神聖な性質が、彼の行動の表現であるということです。

**I テサロニケ2:9** 兄弟たちよ、あなたがたは、わたしたちの労苦と辛苦を覚えているでしょう。わたしたちは、あなたがたのだれにも重荷を負わせないようにと、夜も昼も働きながら、あなたがたに神の福音を宣べ伝えたのでした。

2. 箱を運ぶために竿が金の環へと差されることが表徴するのは、キリストの行動が、神聖な性質の結合する力の中で、人が彼らの体において神の証しを担うことによるということです:

ピリピ1:20 そこで、私の切なる期待と希望は、私がどんな事にも恥じることなく、かえっていつものように、あらゆる事で大胆になって、生きるにも死ぬにも、今なおキリストが、私の体において大きく表現されることです。21 なぜなら、私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。

a. 今日私たちは注意し、正しい方法を用いて神の証しを担わなければなりません。

サムエル下6:6 彼らがナコンの打ち場に来たとき、ウザは神の箱に手を伸ばしてそれを押さえた。牛がつかずいたからである。7 すると、エホバの怒りがウザに向かって燃え上がり、神は過ちのゆえに彼をそこで討たれたので、彼はその場で、神の箱のそばで死んだ。

b. 箱を担ぐ正しい道は、主イエスと直接、結び付いて、私たちと彼との間に何の距離もないことです。

使徒1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨む時、あなたがたは力を受ける。そしてエルサレムにおいても、ユダヤ全土とサマリアにおいても、また地の果てまでも、私の証し人となる」。

3. 二本の竿が箱の環の中にとどまることが表徴するのは、神の証しとしてのキリストの行動のために、私たちが備えているということです。

マタイ4:19 イエスは彼らに言われた、「私について来なさい。あなたがたを、人を捕る漁師にしてあげよう」。20 すると彼らは直ちに網を残して、彼に従って行った。

**IV. 「また第二の幕の後ろにある幕屋は、至聖所と呼ばれています。そこには…全面、金で覆われた契約の箱が有って、その中には、マナが入っている金のつぼと、芽を出したアロンの杖と、契約の板とがありました(ヘブル9:3-4)」:**

A. 隠されたマナは、私たちと神との間に何の距離もないとき、私たちが神の臨在の中で享受するキリストの分け前です。私たちと主との間に何の距離もないとき、私たちは親密で隠された方法でキリストを享受します。これは隠されたマナの享受、すなわちキリストの隠された分け前の享受です:

出16:33 モーセはアロンに言った、「つぼを取って、マナを一オメルいっぱいその中に入れ、それをエホバの御前に置いて、代々にわたって保存しておきなさい」。

34 エホバがモーセに命じられたように、アロンはそれを証しの板の前に置いて保存した。

隠されたマナは公のマナと同じですが、異なった状況の中にあります。マナが戸外にあるとき、それは公のマナです。マナは主の臨在の中であって、いくつかの層の下に隠されているとき、隠されたマナとなります。性質、機能、その他のあらゆる面で、隠されたマナは公のマナと同じです。…その違いは位置にあります。

1. ペルガモに在る召会の状態に勝利を得ることは、自分自身を今日のキリスト教の一般的な実行から分離すること、神の臨在の中にとどまって、他の何に対してでもなく直接、彼に対して務めをすることです。 **4**

ここで私たちは、キリストの何かを享受します。それは、彼の臨在から遠く離れているすべての人が、味わうことができないものです。**啓2:17** …勝利を得る者には、あの隠されたマナを与えよう。

2. 私たちが隠されたマナを享受したいなら、私たちと神との間に何の距離もあってはなりません。私たちと主との間のすべての距離は、除かれなければなりません。

神はどこにおられるのでしょうか？ 彼は至聖所の中に、幕屋の最も奥の部屋におられます。…この至聖所で、奉仕する者は、隠されたマナを享受します。隠されたマナとは何でしょうか？ それは、私たちと神との間に何の距離もないとき、私たちが神の臨在の中で享受するキリストのその分け前です。

3. 私たちは主に対して務めをし、彼を隠されたマナとして享受しているとき、彼と直接の交わりを持ち、彼の心と意図を知ります。主の臨在の中で、私たちは彼と、彼の意図、彼が私たちに行なってもらいたいすべてのことが託されることができます。
4. 私たちは主に対して務めをしているとき、神の委託を持ちます。なぜなら私たちは彼の臨在の中にいて、私たちと神との間に何の距離もないことを認識するからです。

**エゼキエル44:15** しかし、ザドクの子たちであるレビ人の祭司たち、すなわちイスラエルの子たちが私から迷って行ったとき、私の聖なる所の任務を守った者は、私に近づいて来て、私に対して務めをし、私の前に立って、脂肪と血を私に献ささげなければならぬと、主エホバは告げられる。

**16** 彼らは私の聖なる所に入り、私の食卓に近づいて来て私に対して務めをし、私の任務を守る。

- B. 芽を出した杖が表徴するのは、キリスト、復活した方が、私たちの命、生活、私たちの内側での復活の命であるべきであり、この命が芽を出し、開花し、実を結んで熟するべきであるということです：

**民17:8** その翌日、モーセは証しの天幕に入って行った。すると見よ、レビの家のアロンの杖が芽を出し、つぼみを付け、花を咲かせ、アーモンドの実を結んでいた。

1. 民数記第16章に記録されているように、イスラエルの子たちが反逆した後、神は十二人の族長に、イスラエルの十二部族にしたがって十二本の杖を取り、それを証しの天幕の中にある箱の前に置くように命じました。そして神は言いました、「私が選ぶ人の杖は芽を出す(民17:5)」。

**民17:5** 私が選ぶ人の杖は芽を出す。こうして私は、イスラエルの子たちのあなたがたに対するつぶやき、すなわち、私に対するつぶやきをやめさせる」。

2. 十二本の杖はすべて葉がなく、根がなく、枯れて、死んでいました。どれでも一本が芽を出すのが、神によって選ばれた杖でした。ここで私たちが見るのは、復活が神の選びの根拠であること、奉仕の根拠は私たちの天然の命の外にあるものであることです。こうして、芽を出した杖が表徴するのは、私たちが復活におけるキリストを経験することが、私たちが神に受け入れられるようにし、神の与えられた

務めに権威があるようになるということです。

3. あらゆる奉仕の原則は、芽を出した杖にあります。神は十一本の杖を族長に戻しましたが、アロンの杖を箱の中に保存して、永遠の記念としました。これは、復活が神に対する私たちの奉仕の永遠の原則であることを意味します：

**民17:10** エホバはモーセに言われた、「アロンの杖を証しの板の前に戻して保存し、反逆者たちに対するしるしとしなさい。そうすればあなたは、私に対する彼らのつぶやきを終わらせ、彼らは死ぬことがない」。

- 復活とは、あらゆることが神からであって、私たちからではないことを意味します。復活は、神だけができて、私たちはできないことを意味します。
- 復活は、あらゆることを神が行ない、私たち自身が行なうのではないことを意味します。復活を知るすべての人は、自分自身に絶望しました。彼らは、自分にはできないことを知っています。
- 天然の力が残っているとき、復活の力には現れる立場がありません。サラが自分で子供を身ごもることができたとき、イサクは来ませんでした。

**創18:13** すると、エホバはアブラハムに言われた、「なぜサラは笑って、『私は年老いているのに、本当に子を産むのだろうか』と言うのか？ **14** エホバにとって、不思議すぎることがあるだろうか？ 私は定められた時、命の時に、あなたの所に戻って来る。その時、サラは男の子を産む」。 **21:2** サラは身ごもり、神がアブラハムに語られたその定められた時に、年老いたアブラハムに男の子を産んだ。

- 私たちができることは天然の領域に属しており、私たちができないことは復活の領域に属しています。人は自分自身を終わらせなければなりません。そうしてはじめて、自分が完全に無益であることを自覚します。

**マルコ10:27** イエスは彼らを見つめて言われた、「人にはできないが、神はそうではない。神にはすべての事ができるからである」。

神の能力が現されるのは神の創造においてではなく、復活においてです。神の最大の力は、創造を通してではなく、復活を通して現されます。神の力が創造において現されるとき、死が先に来る必要はありません。しかし、神の力が復活において現されるとき、死が先に来る必要があります。創造されたあらゆるものは、その創造に先立つものは必要ありませんが、復活の中にあるあらゆるものにはそれに先立つものがあります。…人は自分自身を終わらせなければなりません。そうしてはじめて、自分が完全に無益であることを自覚します。

- もし人が決して自分自身のできないことを認識したことがないなら、決して神のできることを経験

することはできません。復活は、私たちができないこと、神があらゆることを行なう方であることを意味します。Ⅱコリント4:7しかし、私たちはこの宝を土の器の中に持っています。それは、この卓越した力が神のものであって、私たちからではないことが現れるためです。

C. 契約の板は、律法の板であり、神聖な命の法則を表徴します。それは神聖な命の自然な力、自動的な機能、本来の能力、神聖な性能です：

エレ31:33しかし、これらの日々の後に、私がイスラエルの家と結ぶ契約はこれであると、エホバは告げられる。私は私の律法を彼らの内なる各部分に置き、それを彼らの心に書き記す。私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。

ローマ8:10しかし、キリストがあなたがたの中におられるなら、体は罪のゆえに死んでいても、霊は義のゆえに命です。6肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。11そして、イエスを死人の中から復活させた方の霊が、あなたがたの中に住んでいるなら、キリストを死人の中から復活させた方は、あなたがたの中に住んでいる彼の霊を通して、あなたがたの死ぬべき体にも、命を与えてくださいます。10:12ユダヤ人とギリシャ人の区別はありません。同じ主が、すべての者の主であって、彼を呼び求めるすべての者に、彼は豊かです。13なぜなら、「主の御名を呼び求める者はすべて救われる」からです。

1. 命の法則、この神聖な性能は、私たちの中であらゆることを行なって、神のエコノミーを完成することができます：
  - a. この性能にしたがって、私たちは神を知り、神を生き、神の命と性質において神で構成されて、彼の拡張、彼の拡大となり、彼の豊満となって、彼を永遠に表現することができます。エペソ1:22また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。23この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。
  - b. さらに、内なる命の法則の性能は、私たちをキリストのからだの肢体に構成し、あらゆる種類の機能を持たせます。エペソ4:11そして彼ご自身は、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧する者、または教える者として与えられた。16この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。
2. 神聖な命が私たちの中で成長するとき、命の法則は機能して私たちを、神の長子としてのキリストのかたちに形成し、同形化します：ローマ8:2なぜなら、命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、私を解放したからです。

29 なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです。

神を賛美します。私たちは神から生まれました！この神聖な誕生は、私たちを新しい領域に、罪、この世、肉のない領域に移したのです。この領域には命の法則の機能があります。覚えていてください。命の法則はおもに私たちを規制しているのではなく、おもに私たちをキリストのかたちに形成し、同形化しているのです。

- a. 命の法則は、おもに私たちを、間違っただけを行なうことから規制するものではありません。それは規制して命の形状を得させます。
- b. 命の法則はおもに消極的な面で機能して、行なうべきでないことを私たちに告げることはありません。そうではなく、命が成長するとき、命の法則は積極的な面で機能して、私たちをキリストのかたちに形成します。すなわち、私たちをキリストのかたちに同形化します。
- c. 命の法則の機能を通して、私たちはみな神の円熟した子たちとなり、神は彼の宇宙的な表現を得ます。ヘブル6:1 こういうわけで、キリストの初歩の言を後にして、再び基礎を据えることをしないで、円熟にもたらされようではありませんか。

### 経験:ビジネス・ライフ編

- ① Ⅱコリント1:8 兄弟たちよ、アジアで私たちに降りかかった患難について、あなたがたに知らずにいてもいたくありません。すなわち、私たちは極度に、耐えられないほどに圧迫されて、生きる望みをさえ失ったほどです。9 実に、私たちは自ら、自分自身のうちに死という答えを持ちました。それは、私たちが自分自身に信頼するのではなく、死人を復活させる神に信頼するためでした。

**FN「死という答え」:**使徒たちは、患難の圧迫の下にあったとき、生きる望みさえ失い、苦難の果てはどうなるのかと、自分自身に尋ねたかもしれません。その答え、応答は、「死」でした。これは彼らを導いて、自分に信頼するのではなく、死人を復活させる神に信頼するという重大な決定をさせました。

**FN「死人を復活させる神に信頼する」:**死の経験は、私たちを復活の経験へと導き入れます。復活は、死人を復活させる神ご自身です。十字架の働きは、私たちの自己を終わらせますが、それは復活の中で私たちが神を経験するためです。十字架の経験の結果は、常に復活の中の神を享受することです。

- ② 在職青年は、厳しい競争の下に置かれていますので、競争に勝とうともがく時、容易に仕事に占有されてしまいがちです。このような状況下で正常な召会生活を実行することは、不可能であると考えます。主イエスは在職青年であるあなたを見つめて言われます、「それは人にはできないが、神にはすべてのことができる」。また、あなたが圧迫されて生きる望みを失った時、自分自身に信頼するのではなく、死人を復活させる神に信頼することができます。霊を活用し、信仰を活用して苦難を恐れず、主と共に、主の中で、主のために在職生活を前向きに送ってください。